



横須賀市議会議員

大野 忠之

教育福祉常任委員会 副委員長

予算決算常任委員会（教育福祉分科会）

市政報告 第06号（平成25年1月）

「ありがとうよこすか」

大野忠之事務所

〒238-0024 横須賀市大矢部 3-1-3

TEL : 046-838-6571 FAX : 046-838-6573

URL : <http://www.ohno-tadayuki.com>

新しい年を迎え、皆様お元気でお過ごしでしょうか？

さて、私、大野忠之は、昨年11月29日から12月14日までの会期で開かれた第4回定例会で、前回の第3回定例会に引き続き一般質問を行いました。主な質問項目は、①政治信条・政治理念②市長のマニフェスト③国際都市としてアピールできるイベント④人口減少対策⑤市長によるサンディエゴ訪問⑥「特徴あるまちづくり」まる⑦市長の資質 - の各々についてです。

主な項目の質問詳細は以下のとおりです。

★『国際都市としてアピールできるイベントについて』

- a. 今年度の国際レセプション実施に対する市長の考え方の変化について
- b. 市長が「国際交流の成功例」と評価しているジャパンフェスティバルの予算が減額傾向にあることに対する見解について
- c. 国際都市を未来像に据えた中での国際交流推進事業の重要性に対する見解について

★『人口減少対策について』

- a. 雇用創出のための企業誘致について
 - ア. 市長の働きかけによる企業誘致について
 - イ. 誘致した企業による本市の雇用創出に対する貢献度について
 - ウ. 企業誘致の目標値及び誘致のための具体的な方策について
 - エ. 将来の横須賀を見据えたイメージアップ戦略としての企業誘致に対する見解について
- b. ファーストマイホーム応援制度について
 - ア. 現時点における制度の成果に対する見解について
 - イ. 制度終了後の具体的な対策について

★『「特徴あるまちづくり」について』

- a. 本市を防衛先進のまちとして位置づけることに対する市長の見解について

ほか

★雇用・定住促進が喫緊の課題／本市の人口は平成14年をピークに減少し続け、吉田市長の就任後も歯止めがかかっていないどころか増す気配を見せており、この対策のひとつとして雇用創出が挙げられます。しかし、本市の有効求人倍率が、昨年9月に3年7ヵ月ぶりに0.4%代に上向いたものの県平均（0.59%）には遠く及ばない最低ランクに低迷し続けているとおり、大手企業が市外に移り中小企業の経済状況が悪い中、本市の雇用状況はなかなか改善の見通しがつかない状況です。そこで就任以来、積極的にシティセールス等による企業誘致に力を注ぎ、実際にその成果を公の場でよく話されている市長に、前市長からの継続ではなく純粋に市長自身が誘致から働きかけ成功した企業数および規模、さらにそれらの貢献具合を尋ねました。あわせて将来の横須賀を見据えてのイメージアップ戦略としての企業誘致の考え方についても質問しました。また、定住促進策として5年間の期間限定で導入し今年度で終了する「ファーストマイホーム応援制度」の成果と今後の対策を聞きました。